

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年11月01日

計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)【重点】												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北九州市												
計画の目標	老朽化が進んだ港湾施設に適切な改良を加えることで、海上物流の効率化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,132	A	2,132	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	海上物流の効率化を図るため、バルク・コンテナが接岸する岸壁と国道等を接続する主要なアクセス道路の改良を行う(L=3,532m)。道路等の改良延長3,532mを目標とする。 道路等の改良延長=R2d当初からR6d末までの改良延長	0m	1359m	3532m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	太刀浦幹線1号道路 改良	道路改良 L=627m	北九州港・太刀浦地区						98	-		
		A1-1																		
	A02-002	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	太刀浦幹線2号道路 改良	道路改良 L=1,112m	北九州港・太刀浦地区							114	-	
		A1-2																		
	A02-003	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	太刀浦トンネル 改良	トンネル改良 L=813m	北九州港・太刀浦地区							321	-	
		A1-3																		
	A02-004	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	第2響灘大橋 (改良)	橋梁(上部工)改良 L=490m	北九州港・響灘東地区							433	-	
		A1-4																		
	A02-005	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	第2響灘大橋 (改良)	橋梁(下部工)改良 L=490m	北九州港・響灘東地区							205	-	
		A1-5																		
	A02-006	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	響灘大橋 (改良)	橋梁(上部工)改良 L=490m	北九州港・響灘東地区							487	-	
		A1-6																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	響灘大橋 (改良)	橋梁(下部工)改良 L=490m	北九州港・響灘東地区						474	-	
											小計						2,132		
											合計						2,132		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	42	61	30		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	42	61	30		
前年度からの繰越額 (d)	0	25	33		
支払済額 (e)	17	53	55		
翌年度繰越額 (f)	25	33	8		
うち未契約繰越額(g)	3	12	8		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	7.14	13.95	12.69		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		利用者調整に不測の日数を要したため。	関係者協議に不測の日数を要したため		